



## 第50回 日本重症心身障害学会 学術集会を開催して

昨年11月21日と22日に第50回日本重症心身障害学会学術集会が三重県総合文化センターで開催されました。この学会は重症心身障害児・者の医療、福祉などに関わる多職種が参加する学会で、日本全国から1100人を超える方々が参加され、大変盛況な学会となりました。

当院からは私が『重症心身障害医療における抗菌薬適正使用』として会長講演を行い、整形外科の西山正紀先生が『重症心身障害児・者に対する軟部組織解剖術について』の教育講演を担当しました。その他にも多くの方々が一般演題を発表され熱い討論が交わされました。また22日午後には一般公開企画として“三重を着る”をテーマに当院、鈴鹿病院、明和病院などで、在宅の患者様がモデルとして参加するファッションショーを開催し、会場全体で楽しくも感動的な時間を過ごしました。

最後になりますが、学術集会開催にあたり当院職員をはじめ多くの方々にご協力を頂きました。この場を借りて深謝申し上げます。

(第50回日本重症心身障害学会学術集会会長 村田 博昭)



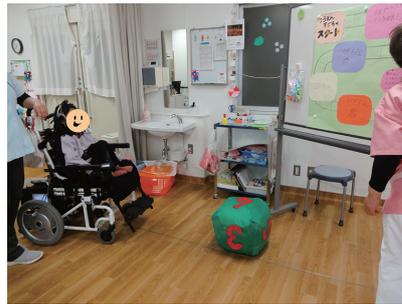
2月のギャラリー作品は鬼です。さまざまな表情の赤鬼、青鬼、紫鬼、緑鬼…。プラコップをベースに、思い思いの色で鬼の制作を楽しみました。作品は渡り廊下に展示していますので、ぜひご覧ください。(保育士 橋本 ひろみ)

## 5病棟の生活のひとコマ

お正月を迎えたと思っていたら、早いものでもうすぐ節分ですね。5病棟新年最初の活動は、病棟内に出現した神社への「初詣」です。それぞれの想いや願いを込めてお賽銭を投げ入れ、二礼二拍手、鈴を鳴らしてお参りました。今年のお願いをした後は、おみくじを引いて今年の運勢を占いました。みなさんの表情からは「やったー大吉!!」「小吉やった…」という声が聞こえてきそうでした。お正月の飾りの前では、新年の誓いを胸に記念写真を撮りました。今年も、患者さんご家族のみなさんが健やかに過ごせますように。(保育士 橋本 ひろみ)



新年が幕を開けた1月上旬、つうえんではすごろく大会とおみくじ引きを楽しみました。実はこのすごろくとおみくじ、冬休みデイ(日帰り短期入所)を利用された医ケア児さんの手作りなんです! 年末のご利用時に、スタッフ



と一緒にマス目のイベント内容を考えて書いたり、おみくじの中に入れるカードを切り抜いて「大吉」等記入して、スタッフが折った「馬のポチ袋」に入れたりして準備をしました。

どちらもとっても上手に作られていましたよ。

すごろくでは大きなサイコロを手にして、いざスタート! 勢いよくサイコロを転がし、出た目に一喜一憂する姿がみられました。マス目には「変顔する」「今年やりたいことを発表しよう」「1回休み」「歌(ゆき)を歌う」等のイベントがあり、何度も「ゆきやこんこ」を歌ったりして、なかなか皆さんゴールするのに苦戦した様子でした。なんとか無事に全員ゴールすると、部屋中があたたかい拍手に包まれていました。そのあとはドキドキしながらおみくじを選びました。「やったー!大吉だった!」と嬉しそうな声が聞こえるなど、さまざまな利用者さんの表情が見られ、和やかな時間が流れていました。新年にふさわしい療育で、たくさん笑顔を見ることができました。今年も様々な活動で、楽しいひとときがすごせますように。(児童指導員 森 日奈子)



三重病院  
Instagram

こちらから  
どうぞ

